

19の作仙印

少五五師団騎兵中五五連隊

陸軍少佐 大谷虎熊

年月日	概	要
昭和五 八 二	善通寺師団騎兵中五五連隊留守隊より、軍備改編により、騎兵中五五連隊を編成す。	
天 九 天	臨槽中三〇一号編成下令	
〇 二	編成完結	
二 五	阪出港出発中隊のみは、南海支隊に属せられ「ニューギニア」に向い出発す	
二 元	仏領印度支那支那南省「カムラン」湾に上陸	
二 元	泰仏印国境通過	
一 四	「メソード」到着	
一 〇	緬甸進入	
一 〇	南部緬甸「モールメン」攻略 戦中「ムドン」及び「モールメン」南入口附近の戦いに於て、将校二名、下士官以下一八名戦死 約一二名 負傷入院	
二 三	「シツタン」河に向い追撃戦に参加	
三 〇	「ペギー」攻略戦に参加	
三 〇	「トングー」攻略戦中「タンタピン」及び「トンスムー」附近の戦いに於て、下	

(131)

0441

年月日	概	要
五 四 三	士官兵 七名 戦死 負傷入院 六名 「ピンマン」 攻略戦に参加 「マンダレ」 に向い 追撃並びに 勦定作戦に参加 「マンダレ」 附近の掃蕩並に 整備 「マンダレ」 北田の村 「マダマ」 附近の整備 「マダマ」 出發	
六 三 一	「ピオンダザ」 北方の村 「ニューンレピン」 着 引続き、同地附近の整備 部隊長以下 所要の指揮機内のみ 空路 「アキヤブ」 に 先行 所在 部隊を 指揮し、 「アキヤブ」 附近の防衛に 任ず	
五 三 一	以降、部隊は、徒步行軍に 依り 「アキヤブ」 に向い 転進を 開始す 三ノ号作戦間、依然 「アキヤブ」 附近の防衛に 任ず 「アキヤブ」 要域の防衛強化中 敵機 の爆撃に 依り、持校二名、下士官兵六名、 戦死、持校一、下士官兵 約三名、負傷入院 ヌ「タンガツカ」 附近に於て、 爆撃に 依り、兵二名 戦死す	
五 一 一	「ハ」 号作戦中 「カニタン」 附近の戦斗に於て、持校一名 兵二名 戦死、負傷 入院一名 「ビドニダマン」 「ブリジマン」 附近の戦斗に於て、下士官兵二 名 戦死、約九名 負傷入院 「プレインクリーク」 「三合流点附近の戦斗に於て 下士官兵五名 戦死、持校二 下士官兵 約六名 負傷入院 「アポカ」 「イドン	

ウカトム

(432)

0442

年月日	概	要
一 四 二 八 三 五	<p>ラン、イパティクリーフ、一五、今流点附近の戦斗に於て、下士官兵四名戦死約九名、負傷入院、イサバマ、附近の戦斗に於て、下士官兵二六名戦死、持枝三、下士官兵四二、負傷入院、イガメ、ランタロタン、イガンガダ、附近の戦斗に於て、下士官兵九名、戦死約一三名、負傷入院、生死不明兵一、(敵手に入りたる疑あり)、イパレワ、イグレメ、イラバワ、イサトヤングワ、附近の戦斗に於て、下士官兵一八名戦死、約一三名負傷入院</p> <p>イウ、号及びイ完、作戦中、イピー、河西側印緬国境、イモドク、イサトヤングワ、イサトウエイ、附近の戦斗に於て、持枝一、下士官兵二〇名戦死、約七名負傷入院、イパレワ附近の戦斗に於て、持枝二名、下士官兵約一八名戦死、持枝一、下士官兵約一四名、負傷入院、生死不明兵一名、(敵手に入りたる疑あり)、イオワラマ、イカレインクワ、より、イサバセ、に向う攻撃戦斗に於て、下士官兵二名、戦死約四名、負傷入院、イランマ、附近に於て、生死不明(敵手に入りたる疑あり)、イミヨホン、西方一五料、イカラタン、河畔、イミンゼキヤング、附近の戦斗に於て、下士官兵一名戦死、約五名負傷入院、イニマウンピンク、及び、イボンナタン、附近に於て、生死不明兵二(敵手に入りたる疑あり)</p> <p>イ妙本、出発、イイラワチ、平地に向い、前進開始</p> <p>イレバダン、附近に於て、同地附近の防衛</p> <p>イアランメウ、に前進、同地附近の防衛</p>	

(433)

0443

年月日	概	要
昭和三十三 八月 九日	盤及び先作戦中、イミンドン、イタイトメウ、附近の戦斗に於て、下士官兵一五 名戦死、約二名、負傷入院、イトントンゲ、イサトワ、附近の戦斗に於て、 下士官兵一一名戦死、約一五名、負傷入院、生死不明、下士官兵四名（一部敵 手に入りたる疑あり）、イアランメウ、イベツキクリク、イナンズビニ、 イパレワ、附近の戦斗に於て、下士官兵一一名、戦死、約四名負傷入院す、 生死不明兵三（敵手に入りたる疑なし）、イカボーム、附近の戦斗に於て、下 士官兵二名戦死、生死不明下士官一（敵手に入りたる疑なし）、ダンビゴン、北 方ニオ料、イビー、イワイン、部落附近の戦斗に於て、戦死兵二名、一名負傷入 院、イペル、山脈、イシツタン、平地横断戦斗中、将校三（部隊長を含む）、下 士官兵六名戦死、約六名、負傷入院、生死不明、将校一、下士官七、兵一三九、 （大部敵手に入りたる疑あり）師団主力に同行中、中隊のイピンマナ、イ ンカ、附近の戦斗に於て、将校一、下士官四名戦死、一名負傷入院、生死不明 兵一（敵手に入りたる疑あり）、 イモールメン、到着 泰緬国境通過 泰仏印国境通過、同時、金辺、に到着 金辺、西方面、イオンポンスポ、に集結 整備の為、イオンポンチナム、（イノンパン）東北方面、に集結	

年月日	要
一五	警備の時、主力を以て「インポンチヤム」東方八〇料「イミモト」に又一部を以て同地東北方五〇料「スノール」及び北方一〇〇料「イクラケエ」に集結、
二五	「金辺」南方一五料「タクマウ」に集結 「バリア」東南方ニ五料「フオックハイ」に集結す
二六	中三中隊の主力は、南海支隊に属し「ニューギニア」に於ける作戦中、将校三名、下士官兵約七四名、戦死す 「タクマウ」に集結中、師団の「ハツケエン」附近に於ける作戦に参加しある中三中隊に連絡の為派遣する将校一名戦死す 歴代部隊長行 陸軍大佐 川 嶋 吉 蔵 少 佐 本 泰 雄 (二〇、七 歳 戦死)
部隊事情精選者	
山口県吉敷郡仁保村大字仁保中郷二三三六	少 佐 大 谷 虎 熊
茨城県那珂郡五基村大字西水倉二六三	少 佐 山 田 徳
徳島県海部郡赤河内村大字西河内 八六	大 尉 山 本 増 雄

439

0445

20の外
仙印

年月日	概	要
	徳島県美馬郡郡里町字妙屋七四	大尉 遠山元康
	愛媛県宇和島中蔵江一五三三	大尉 中村在康
	高知県香美郡夜須村出口四四二	大尉 高橋進
	徳島県郡賀郡見能林村大字見能方字東石仏	医大尉 井上節春
	徳島県板野郡藍園村徳命一六一	主大尉 奥村武夫
	北海道函東郡音更村下音更北七線米一二	獸大尉 土井徳太郎
	石川県小松市高堂町一二〇九番地	中尉 西文泰
	東京都渋谷区代々木沢町一六一三	少尉 眞嶋秀雄
	愛媛県東予郡土居村大字土居一四	少尉 小田原務

(436)

0446

年月日	概	要
	<p> 徳田県朝倉郡朝倉村大字山田二一七五番地 准尉 藤本 登 愛媛県函條市永見町字山口三ノ三三五 曹長 佐伯 充 巳 東京都中野区大和町八〇 曹長 筒井 修 愛媛県温泉郡五明村大字徳次三五四 曹長 野本 時 雄 香川県三豊郡誌岡町大字徳岡 曹長 加藤 操 太 </p>	

(1437)

0447